

東京国際映画祭 CROSSCUT ASIA 連携企画
「カラフル！インドネシア2」
インドネシア映画の特集上映・シンポジウム 詳細決定！

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターは、第29回東京国際映画祭（2016年）で好評を博した「CROSSCUT ASIA #03 カラフル！インドネシア」の提携企画として、特集上映「カラフル！インドネシア2」をアテネ・フランセ文化センターとの共催で1月25日（水）から28日（土）まで実施します。

本特集では、東京国際映画祭の特集とは異なった切り口で、現代インドネシア映画の魅力、特にインドネシアから見た日本人に観てほしい作品を多く取り上げています。中でも、エドウィンなど若手監督等が激動の1998年を振り返るオムニバス『9808—インドネシア民主化10年目のアンソロジー』（2008）、海外での評価も高いインドネシアの人気ポップバンド White Shoes & The Couples Company の音楽ドキュメンタリー、東ティモールが舞台のカミラ・アンディニの短編最新作『メモリア』（2016）を始めとする短編傑作選など、貴重な作品が目白押しです。



最終日の28日（土）には、エディ・チャフヨノ氏（『SITI』監督）と、本特集のプログラミングにも携わったメイスク・タウリシア氏（プロデューサー）をゲストに迎え、「インドネシアの今を見つめる、映画に何ができるのか」と題したシンポジウムも行います。モデレーターに映画批評家のクリス・フジワラ氏、通訳にタウリシア氏と縁の深い藤岡朝子氏（山形国際ドキュメンタリー映画祭理事）を迎え、若手映画監督の勢いあふれるインドネシア映画の今を切り取ります。また、ご来場の皆様には、今回の上映のために制作した特別冊子を無料で配布します。

ぜひ貴媒体でのご紹介ならびに当日のご取材についてご検討いただけますよう、お願い申し上げます。

■「カラフル！インドネシア2」概要

▼映画上映会

- 【会期】 2017年1月25日（水）～28日（土）
 【会場】 アテネ・フランセ文化センター（千代田区駿河台2-11 アテネ・フランセ4階）JR 御茶ノ水・水道橋駅から徒歩7分
 【料金】 一般1,300円 / 学生・シニア1,100円 / 3回券2,700円 / アテネ・フランセ文化センター会員800円
 ※各回入替制、いずれも当日販売のみ
 【作品】 短編5本を含む、10作品（日本語字幕つき）※上映作品は次頁参照
 【主催】 国際交流基金アジアセンター、アテネ・フランセ文化センター（<http://www.athenee.net/culturalcenter/>）
 【特別協力】 東京国際映画祭

▼シンポジウム「インドネシアの今を見つめる、映画に何ができるのか」（映画上映と同会場）

- 【日時】 2017年1月28日（土）18:10～19:40（予定）
 【料金】 無料・予約不要
 【登壇者】 エディ・チャフヨノ（『SITI』監督）、メイスク・タウリシア（映画プロデューサー）※日英通訳あり
 【モデレーター】 クリス・フジワラ（映画批評家）【通訳】 藤岡朝子（山形国際ドキュメンタリー映画祭理事）

※詳細は、国際交流基金アジアセンターウェブサイト（<http://jf.ac.jp/culture/events/crosscut-asia-indonesia2-17012528/>）をご覧ください。

- 主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム（担当：西川、村田）
 Tel: 03-5369-6140 / E-mail: jfac_vdp_info@jpf.go.jp
 ●取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター（担当：二村、諏佐）
 Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

【シンポジウム登壇者プロフィール】



エディ・チャヨノ (『SITI』監督)

インドネシア、ジョジャカルタ生まれ。制作会社 Fourcolours Films の設立者の一人で、短編映画 *Between Past and Present* で多数の映画賞を受賞し、注目を集める。長編第1作は *Let's Dance!* (2010)。長編2作目『SITI』(2014)は、シンガポール、上海、ロッテルダム、ウーディネ、台北等の国際映画祭で上映された。



メイスク・タウリシア (プロデューサー)

エドウィン監督『空を飛びたい盲目のブタ』(2008)、『動物園からのポストカード』(2011)、カミラ・アンディニ監督『ディアナを見つめて』(2015)などをプロデューサー。イベントスペース「キナウルス」を2015年12月にオープンし、週末には特集上映などを主催している。

【上映作品】



『三人姉妹』 *The Three Sisters (a.k.a. Three Maidens)*

(ウスマル・イスマイル/1956/115分)

「カラフル！ インドネシア」で上映されたニア・ディナタの『三人姉妹 (2016年版)』のオリジナル版。ハリウッド映画にインスパイアされたミュージカルで、インドネシア映画の父、ウスマル・イスマイルの代表作。



『9808 - インドネシア民主化 10 年目のアンソロジー』 *9808 Anthology of 10th Year Indonesia Reform*

(ウィスヌ・スルヤプラタマ、ウチュ・アグスティン、オッティ・ウィダサリ、スティエ・ヴィラ・スティアブディ、ハフィズ、ルッキー・クスワンディ、アングン・プリムボド、イファ・イスファンジャー、エドウィン、アリアニ・ダルマワン/2008/115分)

1998年5月のジャカルタ暴動、そしてスハルト政権崩壊から10年の節目に、10人の監督、アーティスト、ミュージシャン等の短編10本をまとめたアンソロジー。



『禁断の扉』 *The Forbidden Door*

(ジョコ・アンワル/2009/115分)

サスペンスを得意とするジョコ・アンワルのサイコホラー。インドネシアのベストセラー小説を映画化。貴重な35mmプリントで上映。

プリント提供：福岡市総合図書館



『SITI』 **監督来日**

(エディ・チャヨノ/2014/88分)

エディ・チャヨノの長編2作目。献身的な妻と、徹底的にそれを受け入れない夫を描く。シンガポール国際映画祭を始め、多くの映画祭で上映、受賞した作品。

協力：逗子海岸映画祭



『White Shoes & The Couples Company in Cikini』

(ヘンリー・ファウンデーション/2016/84分)

ジャカルタで2002年に結成されたポップグループのチキニでのライブを追ったドキュメンタリー。日本でもアルバムが発売されているポップグループで、海外でもライブを行っている。

▼『短編映画傑作選』(計101分) カミラ・アンディニの最新作や、名だたる映画祭で上映された注目作を一挙上映します。

『マリアム』 *Maryam* (シディ・サレー/2014/17分) ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門で受賞。

『虎の威を借る狐』 *The Fox Exploits the Tiger's Might* (ルッキー・クスワンディ/2015/25分) カヌヌを始め、多くの映画祭で上映。

『申年』 *The Year of Monkey* (レガス・バナテジャ/2016/12分) カヌヌ批評家週間で Leica Cine Discovery 賞を受賞。

『恐怖の起源で』 *On the Origin of Fear* (バユ・プリハントロ・フィレモン/2016/12分) ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門で上映。

『メモリア』 *Memoria* (カミラ・アンディニ/2016/35分) 東ティモールを舞台に、女性の自由を問う野心的な作品。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム (担当：西川、村田)

Tel: 03-5369-6140 / E-mail: jfac_vdp_info@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター (担当：二村、諏佐)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp